

# 金継ぎのわびさびはSDGsへ

## COLUMN 県内 大学発 経世済民

688

本年度10月末までの訪日観光客数累計が3019万人となり、過去最高であった2019年度年間の合計を超える見込みだ。観光消費額でも9月末までの累計で5兆8千億円を超え、前年に記録した年間の累計額をこの時点で上回りの、これで年間の客数と消費額で日本観光史上新記録となることが確定した。

日本に自生する漆を天然の接着剤とし仕上げに金をまぐり高度な時絵の技術を施し、破損あるいは欠けた陶器を修復して再利用するものだが、海外では体験

## 川口短期大 富吉 光則

ビジネス実務学科准教授



できないため、それを目的に訪日するという。経験は浅いがひと通りの手ほどきを受けた小職は、担当する観光科目の中でインバウンドに人気の体験型観光コンテンツとして取り上げると学生の関心が高いことが分かり、担当する専門ゼミにおいてこの金継ぎを学生たちにも体験させてみた。

本格的な工程は2カ月に及ぶが、主要な作業である研ぎ、漆塗り、磨き、金をまぐりの4つの工程を約1カ月に圧縮して体験させる。最初は戸惑っていた学生が熱心に取り組んで共同で金継ぎを完成させ、本来の魅力であるわびさびの本質の一端を感じてくれた。そこで学生たちの協力を得て「初めての金継ぎ体験」として大学祭のゼミ研究として発表することにした。

わずか2時間の体験に28人の体験希望者があり、会場は熱気に包まれた。時間の関係で最終工程の金粉をまぐり体験だけが、簡易の漆風呂で漆が半乾きになるまでの20分の間に学生が金継ぎの歴史、本格的な全作業に認定され、未来へと続く布石となった。隼より始めよ、であるが百均でもそろえられる簡易工

とみよし・みつりの 神奈川大学経済学部貿易学科卒業。旅行会社・エアライン関連勤務を経て非常勤講師を歴任後20年より現職。観光ビジネス科目全般を担当。環境省の「国立公園OP」、「空港グランドハンドリング協会」加盟を立案し担当。観光庁登録「地域周遊・長期滞在促進のための専門家」。専門はサステナブル・ツーリズム。